

# みんなの 町議会

第10号

2007年4月

 神石高原町

平成19年度  
当初予算

一般  
会計

98億9000万円  
………  
2



油木保育所入所式

- どうする！井関定住団地（総括質疑） …………… 4
- 三和支所廃止される（条例改正） …………… 11
- おでかけタクシー商工会で（事項別質問） …… 13
- 元気な子ども神楽（グループ紹介） …………… 16

# 00万円の予算

3月定例会は、5日から20日まで開かれ、平成19年度当初予算、平成18年度各会計補正予算、神石高原町支所設置条例の一部を改正する条例など82議案と、議員提出の議員報酬の特例に関する条例の制定など2件、および意見書2件など88案件をそれぞれ原案のとおり可決しました。



牧野町長

## 平成19年度 予算編成方針

### 要旨

すでに「公債費負担適正化計画」で示したとおり「実質公債費比率」が19・8%となっており、

本町の財政事情は極めて危機的状況です。合併4年度目となり合併関連歳入が見込めない予算編成となりましたが少しでも町の将来へ展望を持てるよう、前向きに取り組ましました。

①快適で魅力に満ちたまちづくり

自治振興会への補助、ふれあい事業を継続します。また「新町重点公共施設新設整備事業

基金」を積立しています。上下水道施設・衛生施設の充実を図り、防火水槽設置、衛星通信網整備・小規模崩壊地復旧事業等の防災対策に取り組みます。

②保健・医療・福祉の充実したまちづくり

「町障害者計画」「健康増進計画」の策定、子どものインフルエンザ予防接種対策、「神石高原こたわり牛乳」の学校給食補助、後期高齢者対策、神石三和病院対策、井関地区総合開発事業、全保育所の

第2土曜日開所などさらなる地域福祉・保健・医療制度の充実を図ります。

③教育・文化のまちづくり

スクールバスの更新、小中一貫教育の推進、4公民館体制、放課後子ども教室事業など取り組まします。

④活力ある産業と交流のまちづくり

生産体制及び農産物加工・流通体制の一体的な充実、4土地改良区の合併、3つの産直市場の早期統合、観光施設

設運営の効率化、商工会活動の支援など行います。

⑤交通・情報通信基盤の整備

周回道路整備負担金の計上、町道整備、「予約乗合タクシー」の本格実施、油木無線・三和有線の修理など実施します。

「信頼と合意」を政治理念に加え、引き続き「迅速・確実・誠実」のJKKSを合言葉に、町政の前進を図る取り組みを、住民・職員の先頭に立って邁進します。

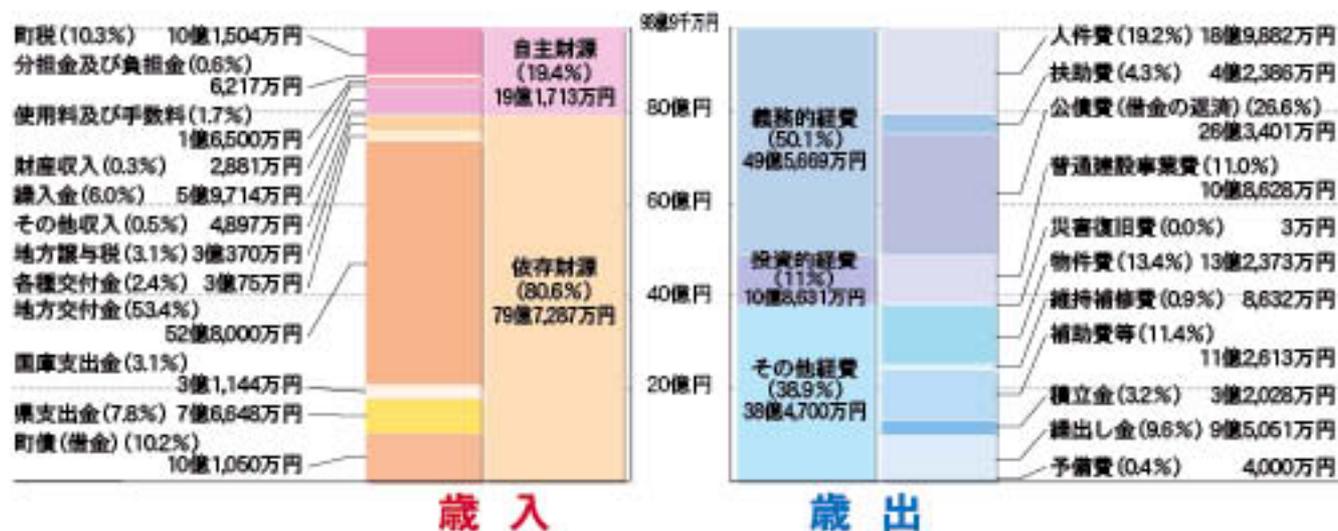


答弁する副町長

# 98億9,0

(前年対比3.9%減)

## 平成19年度一般会計当初予算



## 平成19年度特別会計当初予算

会計名		予算額
特別会計	国民健康保険特別会計	13億6,590万円
	内訳	
	事業勘定	13億6,000万円
	診療施設勘定	590万円
	老人保健特別会計	23億9,900万円
	介護保険特別会計	16億4,750万円
	内訳	
	保険事業勘定	16億1,400万円
	介護サービス事業勘定	3,350万円
	簡易水道事業特別会計	5億1,230万円
	飲料水供給施設事業特別会計	3,480万円
農業集落排水事業特別会計	2億4,580万円	
分収育林事業特別会計	10万円	
計	62億5,400万円	

賛成 16

1 反対

平成19年度当初予算案は、

**可決しました。**

小林 貴議員・松本彰夫議員

国の三位一体改革により、本町の財源確保が極めて困難な中、新町の基本理念「まなびの国」の目標に沿って、住民に対して開かれた予算の中・長期大綱のサービスが確保されている。公債費適正計画をもとにした財政再建・健全化に努められ、長期総合計画に沿って、夢のある、人と自然が輝くまちづくりに向けての構想も具体化されている。執行者・職員一体となり、適切な実行に邁進されることを切望し賛成する。

豊田耕三議員

財政が危殆的な状況にある中、この事業が成功する保証はない。失敗しても、行政が責任をとるものではない。住民が被害をうけ、住民が負担を負うことになる。予算は堅実なもので、日頃、いかに住民の福祉向上を叫び、町づくりの理想や夢を描いても、実現はむずかしい。これ以上の公債比率が高くなる是非常事態になると思い反対する。

# 予算に対する質疑

1問1答方式で  
議席順に行いました。

質問時間は  
1人50分です

## 問 松食い虫対策は

### 答 伐倒駆除で対応



小川清治議員

**Q** 松食い虫空散終了による被害拡大防止対策と空散事業の復活は、

**A** 町長 伐倒駆除で対応する。空散事業の復活は難しい。

**Q** 農業集落排水特別会計事業と小型合併浄化槽事業の町内下水事業全体を一括事業体にする

**A** 町長 うか。一体化することは難しい。

**Q** 計事業と小型合併浄化槽事業の町内下水事業全体を一括事業体にする

**Q** 災害の未然防止を行

**A** 町長 関係者とも調整し、より広く公表し処分したい。

**Q** 遊休財産などの処分はより広く公表すべきではないか。

**A** 町長 職員の良い意見は採用出来るように、またトップの声が職員全体に届くような体制づくりが大切ではないか。

## 問 本庁舎建設は必要か

### 答 シンボルの夢は持ちたい



久保田龍泉議員

**Q** 昨年12月議会で、本庁舎建設問題が取上げられ、庁舎建設は当時の合併協議会の合意事項だと答弁されたが合意はなされていない。建てる建てないはこれから協議

**A** 町長 合併協議会では、調整案がでており、当面建設しないことで議題にはあがっていない。合併後に重点公共施設新設整備

**Q** 障害者自立支援法が施行され、利用者の負担が増えたが、町独自

**A** 町長 本年度、おでかけタクシーで障害者用車両が使えるようにする。地域自立支援協議会を立ち上げ新規事業を検討する。

**Q** 統一地方選挙の時間短縮を図れば、

**A** 町長 こばたけ保育所、たんぼ託児所は、対象年齢が重なるところがある。将来の運営のあり方は、

**A** 町長 年齢が重なる部分は保育所を優先するよう指導している。新年度、保育所の民間委託が可能か検討したい。

**Q** 重点公共施設新設整備基金は、何に使われるのか。

**A** 町長 合併協議会では、調整案がでており、当面建設しないことで議題にはあがっていない。合併後に重点公共施設整備基金に4千万円積んでいる。現

**Q** 障害者自立支援法が施行され、利用者の負担が増えたが、町独自

**A** 町長 本年度、おでかけタクシーで障害者用車両が使えるようにする。地域自立支援協議会を立ち上げ新規事業を検討する。

**Q** 統一地方選挙の時間短縮を図れば、

**A** 町長 こばたけ保育所、たんぼ託児所は、対象年齢が重なるところがある。将来の運営のあり方は、

## 問 空中散布防除は安全か

### 答 環境などの安全に配慮し実施

**Q** 無人ヘリによる水稲防除が、約200ヘクタール実施されている。環境や、健康などへの影響はないか。

**A** 町長 農薬使用基準の厳守や、周囲への飛散防止など、被害の無いよう細心の注意を払って実施している。

**Q** 高濃度の有機リン系農薬は、ガス化し、危険であるが、人体への影響は無いか。

**A** 産業課長 スミバツサ乳剤などは劇物であり、取り扱いに注意すべきである。ラ

いる。

**Q** ジコンヘリでの防除は高濃度の農薬を使用するので、飛行の高度・速度・風速などの制約がある。実施の時間帯も、十分考慮し、安全なる防除体制を取っている。

**A** 町長 井関定住団地の、経過と見通しは、民間生活(町内建設業者)の資本導入を予定している。

合物のリン酸エステルが含有されていないか。

**A** 町長 専門的機関で、成分を確認し、安全面に十分注意する。

だが、厳しい状況となり、遅れている。  
本年を財政再建元年と位置づけているが、本町の発展の力ぎを握る事業であり、是非実現したい。  
2,700万円の予算執行は、受け皿となる事業組織体の了解後、開発申請し、慎重に取り組む。



寄定秀幸議員



ラジコンヘリによる空中散布



機カイハラ

## 問 歳出抑制と歳入確保は

### 答 財政再建に努める

**Q** 3つの過剰(人員・施設・債務)の解消は「集中改革プラン」などを基本にした「信頼と合意」である。

**A** 町長 「早期解消策」は、財源不足は最大の課題である。県との連携などで国に要望の他、財政再建元年としての具体的な

考えがあるのか。

**A** 町長 歳出抑制・歳入確保は、財政の基本であり、3つの過剰の施設については、財産の精査中で不用物件は処分する取り組みを進めている。

人員は、類似団体の経営モデル数値を参考に、

定員適正化計画の確実な実施を必要と考え、支所・施設の機能見直しを検討する。

債務は、人口割合では大きいですが、インフラ整備の積極的な取り組みの結果である。返済計画の確実な実行により、借替債・繰上償還など、有利な債



丸山達夫議員

務の返済に努める。真に必要な事業を実施して、財政再建をはかりながら、将来に夢と希望のもてる事業を併せて行う。

歳入確保対策として、地域間格差のない、また地域での生活権を保障する意味で、交付税の確保を国に要望する。

企業誘致・定住促進など、自助努力も必要である。また利用料なども受益者負担が原則であり、住民に我慢をしていた、たく局

## 問 食育推進の対応は

### 答 新設の理事を中心に推進

**Q** 食育には根底に食糧  
 安保・食糧武装と、  
 食糧自給率確保で国土と  
 国を守る重要な命題があ  
 る。機構改革により対応  
 するといわれたが具体策  
 は。

**A** 町長  
 食育に重要な役割を  
 果たすのは学校給食であ  
 る。

地元産農産物を食べた  
 り農業体験をする中で、  
 生き物や農村の自然にふ  
 れあい、食や農・環境の  
 問題を身近に感じ、食べ  
 物の大切さや農業の重要  
 性を知る事ができる。  
 環境を守る意義を考え  
 るきっかけになり、知・



赤木健二議員

徳・体の土台に位置づ  
 けられた。食育推進計画  
 は学識経験者や消費者団  
 体・生産者団体・学校教  
 育関係者・PTAなどで  
 推進協議会を設置して策  
 定する。  
 機構改革のなかでは、  
 理事に、プロジェクト・  
 行政改革・がんばる地

方応援プログラム・農業  
 再生プログラム・「食育」  
 を担当させる。

**Q** 補助金削減や新型  
 交付税導入などに加  
 え、補助事業にしても実  
 状にそくわないメニュー  
 を強いている。中山間地  
 の切捨てを企てていると  
 思われる。  
 もはや一自治体の問題

としないで、町村会など  
 一丸となり、具体的なア  
 クションを起こす時では  
 ないか。

**A** 町長  
 私も憤りを感じてい  
 る。国土保全・国の存亡  
 にも関わるので力を結集  
 していきたい。



楽しい給食

井関定住団地予定地



## 問 井関地区開発事業を中止せよ

### 答 慎重に取り組む

**Q** 予算大綱にも歳出の  
 抑制といわれている  
 が、まさに井関地区開発  
 が、該当する。予算説明  
 の時に、上下水道、進入  
 路等の計画、建設業者と  
 の協議などが非常に難題  
 と報告された。この事業  
 は行政が思っている以上  
 に費用が増加すると私は

受けとめている。この事  
 業は、直ちに、中止すべ  
 きと考える。事業を中止  
 する事も政策の一つであ  
 る。町長の方針は。

**A** 町長  
 予算計上した以上は  
 中止は考えていない。刻々  
 と条件が悪化しているの  
 は事実である。見直しも

必要だが、定住対策につ  
 ながる事業であり、必要  
 ないとはいいきれない。  
 本町の発展につながるも  
 ので中止はできない。

執行にあたっては、慎  
 重のうえにも慎重に対応  
 し、幅広く民間の活力を  
 導入した、「有限責任事  
 業組合」を立上げ、賛同



豊田耕三議員

が得られない場合は、中  
 止もやむを得ない。

## 問 住宅団地計画の見直しを

**答** リスクはあるが慎重に進めたい



佐伯卓師議員

**Q** 定住対策の目玉である井関住宅団地計画が、当初の計画どおり進んでいない。有限責任事業組合（ＬＬＰ）を立ち上げ取り組むとあるが、財政状況の厳しい本町に失敗は許されない。より財政負担の少ない方向に見直すべきではないのか。

**Q** 町長

財政や上下水道など、状況の変化で遅れている。リスクは多いが本町に必要な事業であり、予算の執行に当たっては重大な決断もせまられるが、慎重に取り組みたい。

**Q** 町長

自主防災組織の設立を働きかけているが、今後の行政の取り組みと支援は。

**A** 町長

町の防災計画にそって、災害を未然に防ぐため、危険地区の周知や啓発を進める。まず全町で組織化をし、課題を見

つけていただき、その後行政支援について考えた

**Q** 町長

自治振興会は行政の下請けのようだとその意見がある。町長はどう考えるのか。

**A** 町長

下請けとは考えていない。お互い切磋琢磨し協働での町づくりを、お願いしたい。

**Q** 空き家バンクの設立への具体的取り組み

**A** 企画課長

空き家や農地は広報などで情報提供を求め、全国に情報発信をしながら、両方のニーズを登録し、県内の宅建業者とも連携し取り組みたい。



敬老会（古川地域）

## 問 三和支所廃止後の対応は

**答** 総務課・企画課で対応

**Q** 三和支所の廃止で三和地区住民への対応はどうなるのか。

**A** 町長

三和支所は廃止し、住民と直接対応としたほうが手続きの簡略化・経費の効率化に繋がる。財産管理、選挙、有線、消防の事務は総務課、自治

振興会、ふれあい事業でハード部分の使用が可能となった。

**Q** 町長

各課との調整は企画課が行う。

**Q** 町長

商工業・観光振興の発展は本町の経済的活性化の要だ。その認識はあるか。今年取り組

みは。

**A** 町長

長期総合計画構想に基づき取り組む。人・町・ものづくりの人材育成のため、ソフト面での支援を重視する。

**A** 助役

基本的に商工業の発

展を望む。商工業の育成、支援をする事を軸にもち

**Q** 町長

本年度の大綱に、農産物の生産・加工・流通体制の一体化を図るとあるが、これからのような事業展開をするのか。

**A** 町長

作る農業から売る農

業への転換を図る。

3つの産直市場は、更なる販売・経営向上を目指して早い時期に統合し、従業員との交流を深め活気ある明るい店舗にしたい。

昨年統合した農業公社は農業生産法人化し、統合後の産直市場を傘下にして、農産物の加工から販売までの収益事業部門を加えた総合的商社にしたい。



182 ステーション

## 問 神石三和病院の今後は

**答** 縮小しても残したい

**Q** 神石三和病院は、規模を縮小しても現在の機能を維持する事が必要だ。公設民営化で運営する場合の委託先は、

**A** 町長 病院対策協議会から答申が出ていないが、小さくしても、病院を無くす事はできない。公設民



松本彰夫議員

営化で運営する場合の委託先は、評価の高い医療機関で、行政への依存体質が少ない法人を望む。

**Q** 県の財政支援が、要望額（15億円）の80%以上ないと難しい。

**A** 町長 障害者に優しい町づくりをと述べている

が、その具体策は。また、障害者が自立をするための就労支援にどう取り組むのか。

**A** 町長 障害者が、地域で安心して暮らしやすい町づくりに向け、様々な事業に取り組み、一自立支援協議会」で具体策を検討

する。障害児保育、学童保育にも障害児対応の予算の増額を行っている。就労支援については、町内外の施設と連携して、就労相談や職業訓練の充実を図る。

**Q** 油木作業所への支援は、

**A** 町長 運営補助以外に、通所者への交通費補助を継

続し、家族会などの活動支援も行う。平成23年度までに、新しい事業への移行が必要であるが、円滑な移行に向け支援する。

**Q** 学校給食に、作業所で製造した「こんにやく」の利用は、

**A** 町長 学校教育課長今後検討したい。



いづみ保育所入所式

## 問 過剰施設の処理方策は

**答** 適切に処理する

**Q** 歳入増に向けて施設・土地の売却が今年度は予算計上してある。その件数と場所、また公募価格の表示、販売の方法は、

**A** 町長 遊休財産は積極的に売却処分する。処分方法は町の普通財産管理及び

処理に関する事務要綱に基づいて適切に処理する。

**A** 企画課長 一般競争入札で行い、特殊な場合は随意契約にする。土地の価格は町の固定資産評価基準、建物がある場合は鑑定評価で行う。

周知する。

**Q** 「神石高原町和牛の里づくり」プロジェクトが検討されている。畜産農家の努力に期待するが、実に難しい状況にある。

**Q** 多くの住民にこのプロジェクトの趣旨を説明し、



村上克朗議員

参加してもらい、将来に悔いの無い方針を、

**A** 町長 議会に説明し、担当課で取り組んでいる。県のプロジェクト再構築も我々の要求によってできている。飼育を一旦やめた人は中々難しいと聞いており和牛改良組合とも協議している。

**Q** 県では、農地の有効利用や地域雇用の促

**Q** 進など、地域が活性化して行くことを、期待して農業ビジネス参入セミナーを開き、多くの企業が参加している。参加企業に本町への誘致、促進を図る時期だが町の対応は、

**A** 町長 大いに期待しているが、結果として表れていない。担い手として期待している。

**Q** 進など、地域が活性化して行くことを、期待して農業ビジネス参入セミナーを開き、多くの企業が参加している。参加企業に本町への誘致、促進を図る時期だが町の対応は、

## 問 井関住宅団地の行方は

答 6月をメドに結論を



瀬尾征爾議員

あがるのではないかと

意取り組んでいきたい。

めて難しいが、規制緩和の期待もあり努力したい。

らば、受け皿の医療機関は評価のある病院、行政への依存体質（財政支援を求めない）のない機関を選びたいと思っている。

**Q** 井関住宅団地計画は牧野町政の一大プロジェクトであるが、その進め方で民間活力導入がうまくいっていないと聞く。

民間活力の組織体（有限責任組合）と腹を割って話し、早期の合意をもって発車しないと山へ

**A** 町長

受け皿（有限責任組合）が決まらない場合は計画を見直す必要があるが、バックがきかない状況下にある。

担当課まかせてなく、私自身がリーダーシップをとり、6月をメドに鋭

**Q**

今年本格運行となる「おでかけタクシー」で、改善要望の60%を占めている町外運行が難しい理由は何か。解決できるのか。

**A** 町長

許可規制にかかり極

**Q**

県立三和病院問題は協議会へ諮問中であるが、県との交渉は条件闘争の感がある。ベストの結果をもたらすのは何か。

**A** 町長

公設民営化とするな

支援を求めているが、これが全くないとするならば、二者択一という究極の判断をせざるを得ないと思っている。



葉タバコの植付

## 問 「集落を守る」施策を

答 国県制度の中で対応



小林 貢議員

**Q** 全国のアンケートでは10年以内に現在ある集落の0.7%（62万2,271集落の内422集落）が消滅し、4.3%（2,641集落）が消滅の危機状態と聞く。集落営農組織づくりに

は集落の急急形成や、リーダー育成に時間がかか

る。また、集落営農には作業の受託など引き受ける中核的農家の存在が欠かせないなど課題も多い。

県内の担い手農家は「増える見込み」僅か4%。「変わらない」32%、「減る」35.5%とでている。本町の高齢化率は41.6%で、高齢化率70%以

上の地区は油木10集落、神石5集落、豊松8集落、三和3集落、全町では26集落で、216集落の中で12%である。高齢化が農業を衰退させ、集落崩壊につながっている。財政再建計画を進めても人が生活しなくなるとは元

も子もない。集落を守る

**A** 町長

施策が必要と考えるが、財政再建は手段である。限界を超えたら崩壊集落となる。これを防がねばならない。

本町でどうこうするのは難しい。来年以降の一農地・水環境保全向上対策事業」など国県制

度の流れの中で対応したい。今後、大きな社会・政治問題に発展すると思うが国・県へ強く訴えていく。



魚切りの滝

## 問 神石三和病院地元移管の受け皿は

### 答 「病院対策室」で検討

**Q** 地元移管の受け皿は①既設の医療法人（例えば、町内の介護老人保健施設などと連携できる医療法人）②公設民営化先進事例の「国保・新大江病院」方式を導入し、現病院のスタッフが「新医療法人」に移行する。受け皿の選択肢は2

**A** 町長 つに絞られたのではないかと。その通りと思うが、病院対策協議会の答申（3月29日）を受け、4月に設置する町長直属の「病院対策室」で検討する。

**Q** 重要なポイントは、本町が要求している運営資金15億円をいくらかもらえるかである。ちなみに神石三和病院の過去5年間の赤字はいくらか。

**A** 町長 そのとおりである。平成14年度から17年度まで4年間の赤字合計は、

**Q** 町民がどのような診療科目を望んでいるか。ぜひとも残すべきは救急と透析であり、手術などの可能な病院を望むのは無理ではないか。



新設の病院対策室



片山元八郎議員

12億1千万円余である。

「病院対策室」で検討する。諮問機関として、専門家による「病院改革委員会」の立ち上げも視野に入れ、町民に不安を与えぬよう最大課題である「病院存続」に向け努力を傾注する。



地籍調査完了検査

## 問 課税の公平性について

### 答 21年度に見直したい

**Q** 現在地籍調査が進められている。

**A** 町長 豊松50%、三和90%、町全体では62%となっている。

**Q** 三和については、調査地の登記終了次第、固定資産税へ反映されているが、他の油木、神石、豊松地区においては反映されていない。

**A** 町長 税の公平性の観点からして、固定資産税への反映をすべきではないのか。

この調査は、旧町村時代に開始されたもので、油木は昭和61年、神石は平成元年、豊松は平成4年、三和は昭和40年の開始である。

三和については、調査地の登記終了次第、固定資産税へ反映されているが、他の油木、神石、豊松地区においては反映されていない。

この事業は、旧町村時代から実施されているもので、開始年度も異なり調査方法もまちまちである。したがって三和地区は固定資産税への反映は

しているが、他の地区は地目の変更のみで、税への反映は行っていない。平成21年度、評価変え時に見直したい。

18年3月末の進捗状況は、油木54%、神石46%、

同一町内における課

税の公平性の観点からして、固定資産税への反映をすべきではないのか。



渡邊俊徳議員

# こんなことが **決** まりました

## 三和支所を廃止！

対応は、総務課と企画課で。

## 助役を「副町長」に

助役を「副町長」に改め、定員は1人と決まりました。

## 出納室を会計課に

会計管理者が配置されます。

## 病院対策室を新設

県立神石三和病院のあり方について検討します。

## 特命理事誕生

- ・プロジェクト担当理事…総務課行財政係に
- ・病院担当理事…病院対策室に

## その他

### ●非常勤特別職の報酬雇用形態を改正

公民館長—12万8,000円/月額  
子育て支援相談員—— 7,600円/日額

### ●重度心身障害者の介護者への手当を増額 (在宅介護者激励手当と同額に)

知的または身体—2,000円→5,000円/月額  
重複するとき—3,000円→5,000円/月額

### ●国民健康保険税が上がります

介護納付金分の改正で上限額は9万円です。

所得割額	$\frac{0.75}{100}$	→	$\frac{1.55}{100}$
資産割額	$\frac{7}{100}$	→	$\frac{12.5}{100}$
被保険者均等割額	5,700円	→	7,800円
世帯割平等額	3,600円	→	5,200円

## 人件費の削減

### ●報酬の削減

#### ・特別職

町長 74万2,000円 → 65万2,960円  
副町長 65万1,000円 → 58万5,900円  
教育長 60万6,000円 → 54万5,400円

(平成20年3月31日まで)

#### ・議員報酬

議長 30万円 → 28万円  
副議長 24万5,000円 → 23万5,000円  
委員長 23万5,000円 → 22万5,000円  
議員 22万5,000円 → 21万5,000円

(期間は平成19年4月1日から平成20年12月4日まで)

### ●職員給与などの削減

#### ・給与

管理職手当が定額制に 3万円・4万円/月額  
職員給与は月額2%~5%減額(1年間)

#### ・旅費

町職員の旅費の見直し。経常経費の節減を目指して、日当を旅行雑費と改める。

100km以上 1,300円/日額

100km未満 650円/日額

## 公民館が再編

現行の15公民館を、公民館4館と10分館、1社会教育施設に。



さんわ総合センターふれあい交流広場



仁吾川ビレッジ

### ●指定管理者が決まりました。

仁吾川ビレッジほか26施設について、指定管理者が決まりました。

### ●人権擁護委員の候補者の推薦に同意

三和地区	朝井	元昭さん
油木地区	中西	朝江さん
豊松地区	中間	智美さん

## 平成18年度 3月補正予算

	補正前予算額	H19年3月補正	補正後予算額
一般会計	110億1,302万円	▲1億1,229万円	109億73万円
特別会計	65億3,630万円	▲6,060万円	64億7,570万円
国民健康保険特別会計事業勘定	13億1,888万円	▲747万円	13億1,140万円
国民健康保険特別会計診療施設勘定	600万円		600万円
老人保健特別会計	25億3,283万円		25億3,283万円
介護保険特別会計保険事業勘定	17億505万円	▲4,297万円	16億6,207万円
介護保険特別会計介護サービス勘定	4,806万円	▲1,710万円	3,096万円
簡易水道事業特別会計	2億3,233万円	▲264万円	2億2,968万円
飲料水供給事業特別会計	3,502万円	68万円	3,571万円
農業集落排水事業特別会計	2億5,319万円		2億5,319万円
観光施設事業特別会計	4億481万円	891万円	4億1,372万円
分収育林事業特別会計	10万円		10万円
合計	175億4,932万円	▲1億7,289万円	173億7,643万円



上空から見た 182 ステーション

当初予算

# 少し細かな質問

## 問 神石小学校プール改修は

久保田龍泉議員

**Q** 神石小学校プールは夏休みまでに改修できるのか。

**A** 学校教育課長  
一学期に工事を始め夏休みに使えるよう努力する。

**Q** 井関住宅団地の実施計画、財源計画が手元に届いていないが、計画はできていないのか。

**A** 企画課長  
確定しないものは出せないが、必要なものは提出する。

**Q** 町広報紙に、公共施設の維持管理費を掲載してはどうか。

**A** 総務課長  
紙面の都合をつけてできるだけ掲載したい。

## 問 おでかけタクシーの商工会委託は

佐伯卓師議員

**Q** 19年度より、おでかけタクシーの運営が商工会への委託となる。住民の利便性向上のため、運行内容の変更なども商工会に任せるのか。

**A** 企画課長  
商工会への委託は、利用者と商工会で意見やアイデアを出し合い、より良い事業となることを期待している。

**Q** 中国バスへの補助が前年より1千万円増を見込んでいる。中国バスの動向もあるが、バス路線の廃止も検討しているのか。

**A** 総務課長  
赤字補填をすれば廃止はないだろうが、財政負担が大きく、予算編成のたびに検討している。

## 問 井関住宅一区画の販売価格は

木野山孝志議員

**Q** 井関住宅団地の整備計画において、102区画(1区画・125坪)の平均販売価格は、最終的に幾らに計画しているのか。

**A** 企画課長  
坪2万円(6千円/m<sup>2</sup>)を上限と想定している。全体は4万2千円なので2億5,200万円となる。125坪なの

で1区画250万円となり、それに建物価格(3LDK)30〜35坪+基礎工事とすると50万円/坪で計算して2,2〜300万円/坪で平屋の一戸建住宅が手に入る。これには、上下水道の負担金30万円も含んでいる。

**Q** スクールバスコースの父木野線が1便増となるが、委託先の選定

はどうするのか。町内全コースを1業者に統一する事を検討しているとしたが本当か。

**A** 教育課長  
町内全コース1事業者とする入札でなく、今までどおり各地区毎の入札とする。

## 問 障害者のおでかけタクシー利用は

松本彰夫議員

**Q** 障害者が、おでかけタクシーを使う場合は、介護用タクシーを利用すると言われたが、車いすを使用されない障害者の利用はどうなるのか。利用できる障害者の範囲は、

その場合事業者が委託料を増額するのか。

**A** 企画課長  
車いすを使用されている人は介護タクシーを利用し、必要のない人は小型タクシーを利用する。障害者の範囲については、福祉課と協議して決める。

事業者へは、固定額と実績に応じて委託料を増額する。



ガンバレ油木高校野球部

## 問 権限移譲の交付金は妥当か

村上克朗議員

**Q** 19年度も、県から権限が移譲される。旅券・文化財保護・野生生物・自然公園・商工業に関する事務、土地改良区の指導監督となっている。県移譲事務交付金・県負担金の額は妥当か。今後の移譲計画は。

**A** 総務課長  
18年4月からの福祉事務所をはじめ、19年6

月からは住民課によって旅券発行事務が開始される。特別交付税・委託金・権限移譲交付金で措置されるが、初年度であるため確認ができない。22年までには、完了する予定である。

**Q** 本年度を「財政改革元年」と位置付けてある。

そうした中、社会福祉協議会への補助金は昨年と比べて35万円増で、644万円となっている。補助金は適切か。

**A** 福祉課長  
職員人件費と、運営費補助金である。経費の削減は極力行うよう、指導する。

## 問 防災無線の改修計画は

小林 貢議員

**Q** 防災無線は、19年度から4年間かけて全町改修する計画となっていた。

**A** 企画課長  
19年度は油木地区改修工事1,300万円を計上しているが計画変更の理由は、油木の現アナログ施設の許可が今年11月30日迄であったが、許可更新

をすれば、更に5年間延長して使用できることになった。

将来的に全町対応可能なデジタルにも対応できる設備にかえるものだが、財政状況から油木の施設改修も、将来的に無駄とならない方法を選択していく。



どんぶり幼稚園入園式

## 問 一般財源の確保は

瀬尾征爾議員

**Q** 一般財源の確保は難しいが、特別交付税の増額は働きかけ次第によって影響がある。

**A** 町長・助役は、その認識で対応すべきではないか。

**A** 助役  
そのように考えており今後鋭意努力したい。

**Q** 新年度法人の設立があるが、農業関連補助金は別枠対応とし、一

般農業者に不利とならないように対処するのか。

**A** 助役  
不利とならないために補正対応を考えなくてはならないと思う。

**Q** 住民の節約意識も高まり、シルトピア体育館一階に障害者席を設け、エレベーターを休止する提案もあるが。

**A** 生涯学習課長  
一つの提案として検討してみたい。

**Q** 合併浄化槽・集排設置に係る宅内改造費の借入金利子補給はできないか。

**A** 環境衛生課長  
今後検討したい。

## 問 井関開発計画は

矢田貝克治議員

**Q** 井関開発計画の1年間見直しと開発許可申請を急ぐ理由、市場調査の範囲は。

**A** 企画課長  
色々な障害があり仕切り直しとなった。

市場調査は、団塊の世代を重点的に考え、福山を中心とした備後地域もターゲットとしている。また大手企業も視野に入

れ、インターネットを使って全国的な調査も考えている。

開発許可が下りれば販売が可能となり、購入者の了解が得られれば着工できる。

市場調査は、団塊の世代を重点的に考え、福山を中心とした備後地域もターゲットとしている。また大手企業も視野に入



神石雪どけマラソン

# 委 員 会 報 告

## 「町道広瀬く吉永線」及び「町道とちぎ橋く矢名瀬線」 道路改良工事の請願を採択

産業建設常任委員会

平成18年11月30日に、矢名瀬班長・山本康樹さんから提出された「町道広瀬く吉永線」及び「町道とちぎ橋く矢名瀬線」の道路改良工事に関する請願については、産業建設常任委員会に付託されていきました。

は、現地調査で、地元の方から実情を聞くなど調査をし、委員会で審査した結果、請願を採択する事に決定しました。この路線は、農道としても利用されており、さらに「主要地方道加茂く油木線」の迂回路としても重要な路線となりま

す。途中個人の私道を通らないと通じないため、当面二つの路線を結ぶ部分を改良して、個人の私道を通らなくても利用できるよう早期に改良できるよう求めました。



産業建設委員会現地調査

## 18年度広島県町議会広報コンクール 最優秀賞を受賞

努力します。

議会広報広聴調査特別委員会正副委員長が交替しました。

委員長 木野山孝志議員  
副委員長 寄定 秀幸議員  
久保田龍泉議員  
松本 彰夫議員  
小坂 大輔議員

引き続きよろしく願います。

本年2月16日に開かれた、広島県町議会広報コンクールにおいて、本町の議会広報「みんなの町議会・第6号」(18年4月発行)が、紙面の部、表紙写真の部の2部門で、ともに最優秀賞に選ばれました。

昨年の優秀賞に続いてのW受賞となりました。広報委員一同はこの受賞を励みに、さらに読みやすい議会広報を目指して

## 意見書の提出

提案者 寄 定 秀 幸 議員  
賛成者 小 林 賢 議員

放射線治療の充実や、早期からの緩和ケアのとりくみ、がん登録制度の推進などを軸とする「がん対策基本法」が昨年6月制定され、今年4月1日より施行されます。

国と県が一体となつてより実効性のある

「がん対策」を進めるため、国に対し「がん対策推進基本計画」の早期決定を求める意見書、県に対し「がん対策推進条例」の早期制定を求める意見書が提出され、ともに原案どおり全会一致で可決しました。



議会広報委員

# 元気な グループ紹介



## 神代子ども神楽

（三和地区時安）



神代子ども神楽を皆さんご存知でしょうか？

平成14年に発足し、現在5年目を迎えました。神代子ども神楽は古来から伝わる広島県無形文化財八ヶ社神楽を伝承するため、週1回、時安文化センターで2時間半くらいの練習を行っています。当初は地元の子どもたち数人で活動していましたが、その演舞の美しさ、子どもたちの頑張り、かわいらしさに感動し、神楽を通して成長していく姿に共感してくださった方たちが、今では福山や府中からも練習にいられています。

神代子ども神楽では、地域、年齢、性別を問わず神楽の好きな子ども達だれでも参加できます。現在では3歳から中学生まで約20名が厳しい稽古をつんで、病院や施設の慰問、地域のお祭り、毎年一度来見ふれあいプラザで行う子ども神楽共演大会など多方面で活躍するまでに成りました。芸の世界、楽しい事は

かりではなく、厳しい練習やつらい事もあります。がたくさんの方に観ていただき、たくさんの拍手を頂いた時が一番の喜びです。

これからも、地域の皆様のご協力を頂きながら、年齢を越え互いに助け合いながら仲良く活動していきたいと思っております。指導者や保護者も子ども達の神楽を通して成長していく姿を励みに支援していきますので、私た

### 編集後記

冬に後戻りしたような寒さの中での、3月定例会は、3度目の春を迎えた神石高原町のまちづくりに、真剣な議論が交わされ、熱き議会となりました。

本年度を財政改革元年と位置づけて、決意も新たに出発です。

「冬は必ず春となる」ことを信じて、心を合わせ、一人と自然が輝く、元気

ちの活動に温かいご声援を宜しくお願い致します。



の出るまちづくり」に進みたいと思います。

議会広報も、予算・決算議会以外、12ページに予算を削減されました。そのような中で、わかりやすく読みやすい「みんなの町議会」となるよう、さらに内容の充実に向けてまいりますので、よろしくお願ひします。

（余震の続く能登半島、震災のお見舞い申し上げます。一日も早く復興することを祈ります。）

（寄）